

01	
02	
03	
04	
05	
06	
07	

仕事の

窓

開発建設部が大保川水系大保川で平成2年より建設を進めている大保ダムの定礎式が、平成18年10月19日に盛大に執り行われました。

Point

定礎式とは、ダムの基礎が立ち上がったことを記念するとともに、ダムの本格的な築造に際し、ダムの永久堅固と安泰並びに工事の安全な施工を祈願することを目的に行うもののです。大保ダムは、平成17年度で本ダムの基礎掘削を終了し、平成18年3月末より本体のコンクリート打設を開始しております。

大保ダムの定礎式を行いました



大保ダム完成予想図

当日は晴天に恵まれ、大宜味村の大保ダムサイトにおいて、内閣府特命大臣（代理）・武田内閣府審議官（代理）、国土交通大臣（代理）・平井河川整備調整官（代理）、沖縄県知事（代理）、嘉数副知事（代理）、地元選出国会議員をはじめ、行政関係者や地元住民の方々など約220名の出席をいただいて開催いたしました。

定礎の儀では、国頭サバクイ（サバクイ）とは琉球王国時代の山林担当の役人のことで、当時国頭から王府へ献木されたかしの木を引くときの村人の心意気を歌つた唄）の曲にあわせて、横森北部ダム事務所長の先導で定礎石が搬入され、続いて来賓および工事関係者の方々により「鎮定の儀」・「斎鑿の儀」・「斎槌の儀」が厳かに執り行われました。その後式典は、コンクリートを打設して礎石の埋納を行い、

の水事情が更に改善されるものと期待する」という祝辞をいただきました。その後、横森北部ダム事務所長から工事経過報告等が行われました。今回の定礎式を節目に、大保ダム本ダムの建設も最盛期を迎えることになりますが、工事の安全な施工に万全を期すとともに、この惠まれた自然環境の保全に最大限に配慮しながら、洪水被害の軽減と沖縄本島の安定した水資源の確保に役立つことはもとより、地域の皆様に広く親しまれる地域資源としての大保ダムの「日も早い完成を目指し、建設を進めてまいります。

開式の後、竹林沖縄総合事務局長より主催者を代表しての祝辞が述べられ、内閣府特命大臣（代理）より沖縄振興を推進する立場から、また、国土交通大臣（代理）より安心・安心の国土づくりを推進する立場から挨拶が述べられ、沖縄県知事（代理）からは、「長期的には依然として厳しい水事情が予想される中、県内第二の規模となる大保ダムが建設されることで沖縄県

の水事情が更に改善されるものと期待する」という祝辞をいただきました。その後、横森北部ダム事務所長から工事経過報告等が行われました。今回の定礎式を節目に、大保ダム本ダムの建設も最盛期を迎えることになりますが、工事の安全な施工に万全を期すとともに、この惠まれた自然環境の保全に最大限に配慮しながら、洪水被害の軽減と沖縄本島の安定した水資源の確保に役立つことはもとより、地域の皆様に広く親しまれる地域資源としての大保ダムの「日も早い完成を目指し、建設を進めてまいります。

今回の定礎式の様子や、大保ダムの概要などを、北部ダム事務所のホームページで公開しております。（HP:<http://www.dcb.ogb.go.jp/home>）興味をもたれた方は、どうぞ、ちらも一度ご覧下さい。



鎮定の儀（写真是左から武田内閣府審議官、嘉数副知事、竹林沖縄総合事務局長、平井河川整備調整官）



珍珠開放



定礎石搬入